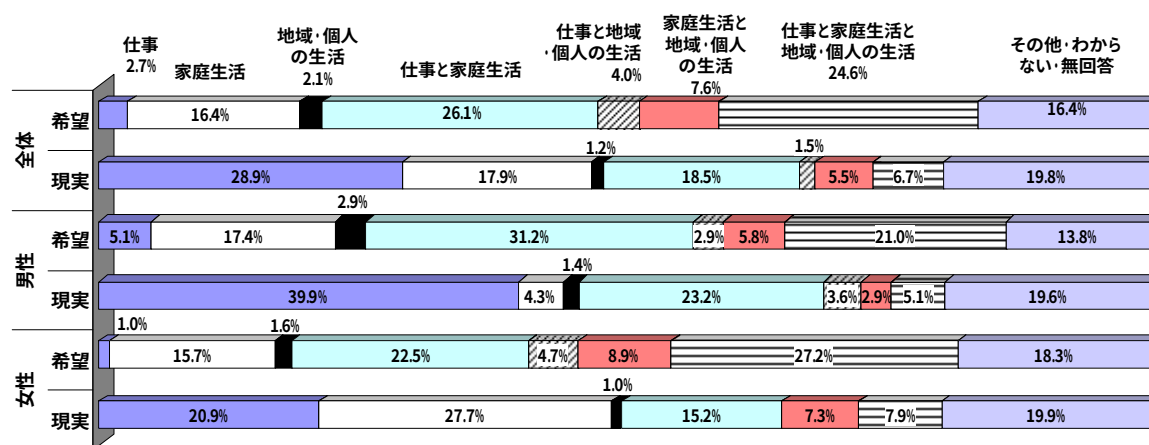


仕事と 家庭の調和について

問 8 次の項目で、あなたが希望するライフスタイルに最も近いものとあなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか？

- ① 「仕事」を優先
- ② 「家庭生活」を優先
- ③ 「地域・個人の生活」を優先
- ④ 「仕事」と「家庭生活」をともに優先
- ⑤ 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先
- ⑥ 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- ⑦ 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
- ⑧ その他 ⑨ わからない



「希望」の優先順位で一番多いのは、男性が『「仕事」と「家庭生活」』で 31.2%、次に『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」』で 21.0%です。女性は順序が逆になり、『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」』が一番多く 27.2%、次が『「仕事」と「家庭生活」』で 22.5%でした。

「家庭生活」を含んだ項目を選んだ人は男性 75.4%、女性 74.3%、同様に「仕事」は男性 60.2%、女性 55.4%、「地域・個人の生活」は男性 32.6%、女性 42.4%。「家庭生活」は男女ほぼ同割合で優先したい割合が一番多い一方、「仕事」は男性の方が、「地域・個人の生活」は女性の方が多くなっています。

年代別に見ると、20、30 代は 40 代以降に比べ「仕事」優先の傾向が少なく「家庭生活」優先が多くなっています。「地域・個人の生活」をいずれかで選択した人は、男性は 20 代、50 代が 20%台で少なく、30、40、70 代が 40%台で多いのに対し、女性は 20 代の 30.8% から 70 代の 52.9%まで年代があがるにつれて増えています。

「現実」に最も近いものとして選ばれた項目は、男女とも希望とは違っていました。一番多いのは男性が『「仕事」を優先』で 39.9%、女性は『「家庭生活」を優先』で 27.7%。男女とも多くの方が「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」のいずれか複数を選択したいと考えていますが、現実には男性は「仕事」、女性は「仕事」または「家庭生活」のいずれか 1つを優先している人が多い状況です。

「地域・個人の生活」を含んだ項目を選んだ人は、「希望」では 20 代男性の 21.4% から 70 代女性の 52.9%まで 2～4 割台が占めていますが、「現実」ではずっと低く、特に 40 代は男性 8.7%（希望は 43.5%）女性 7.0%（同 42.2%）と、全体の中でも希望している割合が高いのに現実の数値は他の年代より低く、理想と現実の差が大きい世代です。